プッシュトーク

プッシュトークとは 80
プッシュトーク発信する 82
プッシュトーク通信中にメンバーを追加する 83
プッシュトーク着信する 84
プッシュトーク電話帳を登録する 85
プッシュトーク電話帳を利用してプッシュトーク発信する 87
プッシュトーク電話帳を削除する 88
プッシュトーク電話帳を使いこなす ..... 〈プッシュトークプラス〉 89
プッシュトークの動作を設定する ..... 〈プッシュトーク設定〉 89

プッシュトークとは

(PTT)を1秒以上押してプッシュトーク電話帳を呼び出し、相手を選んで(PTT)を押すだけの簡単操作で複数の人(自分を含めて最大5人まで)と通信できます。(PTT)を押す(発言する)ごとにプッシュトーク通信料が課金されます。

- プッシュトークの詳細や対応機種については、ドコモのホームページまたは『ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)』をご覧ください。

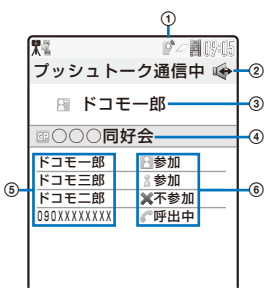
プッシュトークプラス

自分も含め最大20人までとプッシュトーク通信ができるサービスです。ネットワーク上の共有電話帳を利用したり、メンバーの状態を確認できたりするなど、より便利にプッシュトークをご利用いただけます。

※ 操作方法などの詳細については、お申し込み時にお渡しするご案内をご覧ください。

※ 別途プッシュトークプラスのご契約が必要です。

プッシュトーク通信中の画面の見かた



① : プッシュトーク通信中

② : ハンズフリー ON

③ 現在の発言者
電話番号(電話帳に登録されている場合はメンバー名)を表示
[自分] : 自分が発言者のとき(発言可能)
[非通知] : 発信者の番号通知設定が[非通知]のとき
[?] : 発言者が特定できないとき
(表示なし) : 発言者がいないとき(空き状態)

④ グループ名
グループ発信した発信者の画面にのみ表示

⑤ メンバー
電話番号(電話帳に登録されている場合はメンバー名)を表示
[非通知] : 発信者の番号通知設定が[非通知]のとき

⑥ 通信状態
参加 : プッシュトークの発信者
参加 : プッシュトーク通信に参加中
呼出中※ : 相手を呼び出し中
不参加※ : 相手がプッシュトークを終了、または応答しない/圏外/電源OFF中
運転中※ : 公共モード(ドライブモード)設定中
※ 複数の相手とのプッシュトーク通信の場合のみ表示されます。

プッシュトーク通信中の操作

操　作	ボタン操作
発言する	発言権が開放状態のときに [P] を押している間だけ発言できます。 他のメンバーが発言権を持っているときは、[P] を押しても発言権を取得できません。
メンバーを追加する	[✉] (追加)を押します。プッシュトークを発信した場合のみ操作できます。
ハンズフリーを切り替える	[📞] (🔊)を押します。押すたびにON/OFFが切り替わります。
受話音量を調節する	[▲][▼] を押します。
プッシュトークを終了する	[📵] を押します。
音声電話を受ける	[📞] を押します。(P.65) 音声電話を受けた場合、プッシュトーク通信は終了されます。 プッシュトーク中に音声電話がかかってきた場合の動作は設定できます。(P.90)

- 1回の発言権で、お話しできる時間は制限があります。制限時間に達すると、取得中の発言権は開放されます。また、一定時間発言権の取得者がいない場合はプッシュトーク通信が終了します。
- プッシュトークの通信状態が変更されたり、発言権を取得すると信号音が鳴ります。
- プッシュトーク通信中、iモードはご利用になれません。
- 他の機能が起動している場合、発言権を取得することはできません。ただし、プッシュトークで発言中に他の機能が起動した場合、[P] を押している間は発言することができます。
- プッシュトーク通信中にテレビ電話、データ通信、プッシュトークを着信した場合、着信履歴を残し、プッシュトークが継続されます。

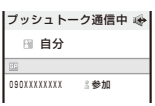
プッシュトーク発信する

- 音声電話、テレビ電話、データ通信中、2in1のモードをBモードに設定中は、プッシュトーク発信できません。
- iモード通信中にプッシュトーク発信した場合、iモード通信が切断されます。また、iアプリ実行中にプッシュトーク発信した場合、iアプリが中断されます。
- 2in1のBナンバーでプッシュトーク、プッシュトークプラスを利用することはできません。

1 待受画面で電話番号を入力する

2 (P) を押す

発信すると信号音がスピーカーから聞こえるハンズフリーに切り替わります。



発言する場合

発言権が開放状態のときに (P) を押します。(P) を押している間だけ発言できます。

3 通信が終わったら (終了) を押す

- プッシュトークでは、緊急通報(110番、119番、118番)に電話をかけることができません。
- 「186/184」を付けてプッシュトーク発信しても発信者番号を通知/非通知にすることはできません。
- プッシュトーク発信するときの発信者番号の通知/非通知は、発信者番号通知設定に従います。(P.45)
- 発信者番号通知設定を[通知する]に設定して発信した場合、追加したメンバーを含むすべてのメンバーに発信者やすべてのメンバーの電話番号が通知されます。[通知しない]に設定して発信した場合、追加したメンバーを含むすべてのメンバーには、発言者やメンバーの欄にすべて[非通知]と表示されます。
- オプション発信画面の番号通知で[通知発信] / [非通知発信]を指定してプッシュトーク発信すると、選択した発信条件に従って発信者(自分)とすべてのメンバーの電話番号が、すべてのメンバーに通知/非通知されます。
- プッシュトーク発信する際に、発信者番号通知設定と発信時にオプションで番号通知を同時に設定したときの優先順位は次のとおりです。
  1. 発信時のオプション発信画面で選択した発信条件
  2. 発信者番号通知設定

履歴からプッシュトーク発信する

リダイヤル、着信履歴からプッシュトーク発信できます。

- 2in1利用時は、Bナンバーの履歴からはプッシュトーク発信できません。

例：着信履歴からプッシュトーク発信する場合

1 待受画面で ◀ (📞)を押す

着信履歴画面が表示されます。

2 着信履歴を選び 📞 を押す

発信すると信号音が聞こえます。

● 複数でプッシュトーク通信中にメンバーの通信が切断された場合、他のメンバー間で通信が継続している間は、リダイヤル/着信履歴からその通信に復帰できます。終了していた場合は、新規の発信となります。

プッシュトーク通信中にメンバーを追加する

プッシュトークを発信した場合、プッシュトーク通信中にメンバーを追加することができます。メンバーは最大通信人数(自分を含めて最大5人)まで追加でき、不参加だったメンバーを再度呼び出すこともできます。

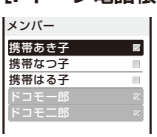
例：プッシュトーク電話帳からメンバーを選択する場合

1 プッシュトーク通信中に ✉ (追加)を押す

追加方法選択画面が表示されます。

[Pトーク電話帳参照]：プッシュトーク電話帳から選択します。
[電話帳参照]　　：FOMA端末電話帳から選択します。
[直接入力]　　：電話番号を直接入力します。

2 [Pトーク電話帳参照]を選び ☰ を押す



グループからメンバーを選択する場合
ch (グループ)を押し、グループを選択します。

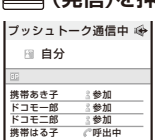
3 メンバーを選び ☰ を押す

選択したメンバーに「✓」が表示されます。

4 📞 (完了)を押す

追加メンバー参照画面が表示されます。

5 ☰ (発信)を押す



選択したメンバーを呼び出します。

次ページにつづく

● プッシュトーク通信中に追加したメンバーは、リダイヤル/着信履歴の詳細情報に表示されません。
● プッシュトーク対応機種を使用している相手はメンバーに追加できます。ただし、非対応機種では、画面上には追加したメンバーは表示されず、信号音も鳴りません。

プッシュトーク着信する

プッシュトーク着信すると、着信ランプの点滅、着信音、バイブレータなどでお知らせします。着信時の動作は、着信設定やマナーモードなどの設定により異なります。

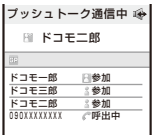
- 音声電話中にプッシュトーク着信した場合、プッシュトークはつながりません。不在着信の通知情報アイコンが表示され、着信履歴に記録されます。テレビ電話、データ通信中にプッシュトーク着信した場合、プッシュトークはつながりません。着信履歴にも記録されません。
- iモード通信中にプッシュトーク着信した場合、iモード通信中着信設定の設定に従います。

1 プッシュトークを着信したら [P] または [通話] を押す

応答すると、相手の声がスピーカーから聞こえるハンズフリーに切り替わります。

応答しない場合

[終了] を押します。



画面にはメンバー名が表示されます。電話帳に登録されていないメンバーの場合は、電話番号が表示されます。

- プッシュトークの発信者が、発信者番号通知設定を[通知する]に設定している場合は、すべてのメンバーのメンバー名/電話番号が表示されます。発信者が、発信者番号通知設定を[通知しない]に設定している場合は、すべてのメンバーが「非通知」で表示されます。

発言する場合

発言権が開放状態のときに [P] を押します。[P] を押している間だけ発言できます。

2 通信が終わったら [終了] を押す

● [P] または [通話] の代わりに、[メール] (応答)を押してもプッシュトークに応答できます。エニーキーアンサーを[ON]に設定していると、[0]～[9]、[*]、[#] でもプッシュトークに応答できます。(P.67) 着信中オープン動作設定を[応答する]に設定しているときは、FOMA端末を開くだけでプッシュトークに応答できます。(P.67)
● プッシュトーク着信は応答保留できません。
● 着信拒否に登録している相手が発信したプッシュトークを着信した場合、着信拒否されます。不在着信の通知情報アイコンが表示され、着信履歴に記録されます。

プッシュトーク電話帳を登録する

プッシュトーク電話帳は、1,000件のメンバーを登録できます。
プッシュトーク電話帳に登録するメンバーは、FOMA端末電話帳にも登録する必要があります。FOMA端末電話帳データ1件につき電話番号1件のみをプッシュトーク電話帳に登録できます。プッシュトーク電話帳のメンバー名には、FOMA端末電話帳で登録した名前が表示されます。

- 2in1のモードがBモードの場合、プッシュトーク電話帳は登録できません。
- 2in1のモードがデュアルモードの場合、電話帳2in1設定が[B]に設定された電話帳データは、プッシュトーク電話帳に登録できません。
- 2in1のモードがAモードの場合、電話帳2in1設定が[B]に設定されたメンバーは表示されません。

1 待受画面で (プッシュトーク) を1秒以上押し、(メール) (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [新規]を選び (決定) を押す

登録方法選択画面が表示されます。

[電話帳参照] ：FOMA端末電話帳から選択します。

[直接入力] ：FOMA端末電話帳にデータを新規登録してからプッシュトーク電話帳に登録します。

- FOMA端末電話帳登録(P.95操作3～6)と同じ操作を行ってください。

3 [電話帳参照]を選び (決定) を押す

FOMA端末電話帳が表示されます。

4 データ→電話番号を選び (決定) を押す

プッシュトーク電話帳に登録され、FOMA端末電話帳のデータに「(プッシュトーク)」が表示されます。

● FOMA端末電話帳にシークレット登録した相手をプッシュトーク電話帳に登録した場合、プッシュトーク電話帳に表示されません。表示する場合は、シークレット表示を[ON]に設定してください。(P.141)

グループを設定する

グループに複数のメンバーを登録しておくと、登録した複数のメンバーに同時にプッシュトーク発信できます。
プッシュトーク電話帳のグループは20件まで登録できます。1件のグループには、メンバーを19人まで登録できます。

次ページにつづく

グループを登録する

1 待受画面で [P] を1秒以上押し、[メール] (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

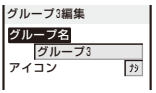
2 [グループ設定]を選び [ボックス] を押す

グループ設定画面が表示されます。

グループ番号を表示する場合

グループアイコンが登録されている場合は、グループ番号の代わりにグループアイコンが表示されます。[#] を押すと、グループアイコンとグループ番号の表示を一時的に切り替えることができます。

3 グループを選び [ボックス] を押す



4 [グループ名]にグループ名を入力する

全角10文字、半角21文字以内で入力します。

5 [アイコン]にグループアイコンを選択する

6 [i] (完了)を押す

プッシュトーク電話帳のグループが設定されます。

グループにメンバーを登録する

1 待受画面で [P] を1秒以上押し、[ch] (グループ)を押す

グループリスト画面が表示されます。

2 グループを選び [ボックス] を押す

グループ内メンバーリスト画面が表示されます。

3 [ch] (編集)を押す

4 メンバーを選び [ボックス] を押す

選択したメンバーに「✓」が表示されます。

メンバーの選択をすべて解除する場合

[ch] (全解除)を押します。

5 [i] (完了)を押す

グループにメンバーが登録されます。

プッシュトーク電話帳を利用してプッシュトーク発信する

プッシュトーク電話帳にメンバーを登録すると、複数のメンバーにプッシュトーク発信できます。

- 2in1のモードがBモードの場合、プッシュトーク電話帳は利用できません。
- 2in1のモードがデュアルモードの場合、電話帳2in1設定が[B]に設定されたメンバーは利用できません。

1 待受画面で [P] を1秒以上押し、メンバーを選び [≡] を押す

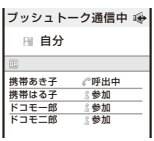
選択したメンバーに「✓」が表示されます。

電話番号を表示する場合

[#] を押すと、名前と電話番号の表示を一時的に切り替えることができます。

2 [P] を押す

発信すると信号音が聞こえます。



発言する場合

発言権が開放状態のときに [P] を押します。[P] を押している間だけ発言できます。

3 通信が終わったら [☎] を押す

グループからプッシュトーク発信する

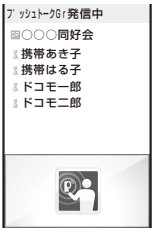
1 待受画面で [P] を1秒以上押し、[ch]（グループ）を押す

グループ番号を表示する場合

グループアイコンが登録されている場合は、グループ番号の代わりにグループアイコンが表示されます。[#] を押すと、グループアイコンとグループ番号の表示を一時的に切り替えることができます。

次ページにつづく

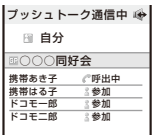
2 グループを選び [PTT] を押す



発信すると信号音が聞こえます。

グループから特定のメンバーを選択して発信する場合

グループ→メンバーを選択し、[PTT] を押します。



発言する場合

発言権が開放状態のときに [PTT] を押します。[PTT] を押している間だけ発言できます。

3 通信が終わったら [終了] を押す

● プッシュトークのグループに発信する場合、メンバーが5人以上登録されていても、発信できるのは4人までとなります。

プッシュトーク電話帳を削除する

プッシュトーク電話帳のメンバーは3とおりの方法で削除できます。

例：1件ずつ削除する場合

1 待受画面で [PTT] を1秒以上押す

複数選択して削除する場合

機能メニュー[削除]→[選択削除]を選択し、メンバーを複数選択して [i] (削除)を押し、[はい]/[電話帳からも削除]を選択します。

すべて削除する場合

機能メニュー[削除]→[全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい] / [電話帳からも削除]を選択します。

- 2in1利用時は、電話帳2in1設定のすべてのモードのメンバーを削除する旨の画面が表示されます。[はい]を選択すると電話帳2in1設定のすべてのモードのメンバーが削除されます。

グループをお買い上げ時の状態に戻す場合

[ch] (グループ)を押し、グループにカーソルをあわせ、機能メニュー[グループリセット]→[はい]を選択します。

2 メンバーを選び [メール] (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

3 [削除]→[1件削除]→[はい]を選び [ﾒﾆｭｰ] を押す

選択したメンバーが削除されます。

FOMA端末電話帳からも削除する場合

[削除]→[1件削除]→[電話帳からも削除]を選択します。

プッシュトーク電話帳を使いこなす 〈プッシュトークプラス〉

ネットワークに接続し、プッシュトークプラスを利用します。(P.80)

- プッシュトークプラスをご契約のお客様のみ利用できます。

1 待受画面で [ ] を1秒以上押し、[ ] (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [ネットワーク接続]→[はい]を選び [ ] を押す

ネットワークに接続されます。

プッシュトークの動作を設定する 〈プッシュトーク設定〉

自動応答するかどうかを設定する

プッシュトーク着信時に、ハンズフリーで自動応答するかどうかを設定します。

1 メニューで[設定]→[アプリケーション設定]→[プッシュトーク設定]→[自動応答設定]を選び [ ] を押す

[自動応答する] : プッシュトークを着信したときにハンズフリーで自動的に応答します。マナーモード設定中は自動応答しません。

[自動応答しない] : プッシュトークを着信したときに [ ] または [ ] などを押して応答します。

2 [自動応答する]/[自動応答しない]を選び [ ] を押す

自動応答設定が設定されます。

呼び出し時間を設定する

自動応答設定で[自動応答しない]に設定した場合、プッシュトークの着信音を鳴らす時間を設定します。

1 メニューで[設定]→[アプリケーション設定]→[プッシュトーク設定]→[呼出時間設定]を選び [ ] を押す

01～60秒の範囲で入力します。

2 プッシュトークの着信音を鳴らす時間を入力する

呼出時間設定が設定されます。

次ページにつづく

プッシュトーク通信中に音声電話がかかってきたときの応答方法を設定する

プッシュトーク通信中に音声電話がかかってきた場合の応答方法を設定します。

1 メニューで[設定]→[アプリケーション設定]→[プッシュトーク設定]→[通信中着信設定]を選び を押す

[通常着信] ：音声電話を着信し、応答できます。
[着信拒否] ：音声電話の着信を拒否します。不在着信の通知情報アイコンが表示され、着信履歴に記録されます。
[留守番電話] ：かかってきた音声電話を留守番電話サービスセンターに接続します。
[転送でんわ] ：かかってきた音声電話を転送先に接続します。

2 プッシュトーク通信中に音声電話がかかってきたときの応答方法を選び を押す

通信中着信設定が設定されます。

iモード中にプッシュトークを着信するかどうかを設定する

iモード中またはiモード通信中にプッシュトークを着信した場合、iモードを切断してプッシュトークを着信するかどうかを設定できます。

1 メニューで[設定]→[アプリケーション設定]→[プッシュトーク設定]→[iモード通信中着信設定]を選び を押す

[プッシュトーク優先] ：プッシュトークを着信し、iモードを切断します。プッシュトーク終了後に元の画面に戻ります。
[iモード優先] ：プッシュトークを着信せず、iモードを継続します。着信履歴には記録されません。

2 優先する機能を選び を押す

iモード通信中の優先機能が設定されます。

ハンズフリー機能を利用する

プッシュトーク通信中に、ハンズフリーを利用するかどうかを設定します。

1 メニューで[設定]→[アプリケーション設定]→[プッシュトーク設定]→[ハンズフリー]を選び を押す

[ON] ：プッシュトーク通信中、相手の声がスピーカーから聞こえます。
[OFF] ：プッシュトーク通信中、相手の声が受話口から聞こえます。

2 [ON]/[OFF]を選び を押す

ハンズフリーが設定されます。

- 平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)接続時は、ハンズフリーの設定にかかわらず、イヤホンマイクでの通話になります。
- マナーモード設定中は、ハンズフリーの設定にかかわらず、ハンズフリーでの応答はできません。

プッシュトーク通信中にFOMA端末を閉じたときの動作を設定する

プッシュトーク通信中にFOMA端末を閉じて、通信を終了またはハンズフリーに切り替えることができます。通信を継続することもできます。

1 メニューで[設定]→[管理]→[本体スライド設定]→[通話中クローズ動作設定]→[プッシュトーク]を選び を押す

[通話継続] ：プッシュトーク通信を継続します。
[スピーカー通話] ：プッシュトーク通信中は、相手の声がスピーカーから聞こえます。
[終話] ：プッシュトーク通信を終了します。

2 通信中にFOMA端末を閉じたときの動作を選び を押す

通話中クローズ動作設定が設定されます。

● 平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)接続時は、通話中クローズ動作設定が無効となり、FOMA端末を閉じてもイヤホンマイクで通話を継続します。